

CDA ニュース 5月号 2018年5月15日 発行

こどもの日・こいのぼりと柏餅

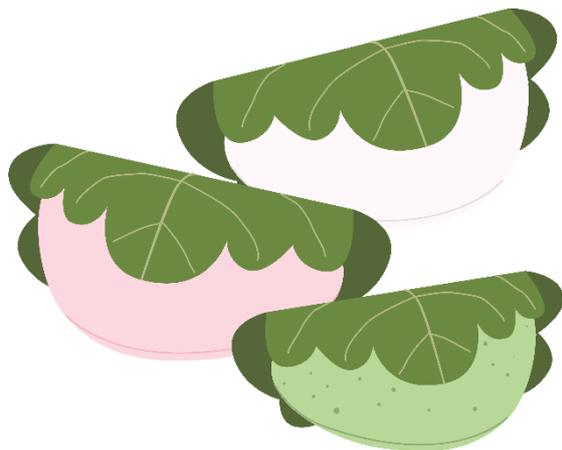


5月5日の「こどもの日」には、こいのぼりを掲げて「男の子の成長と健康」の願いを込める習慣があります。

こいのぼりは「滝を登り切った鯉が龍になって飛んでいく」という中国の伝承が由来とされています。鯉にちなんだ言葉では、その激流の滝を登りきり出世を勝ち取る事から「登竜門」と呼ばれています。

また、柏餅（かしわもち）を食べて「子孫繁栄（しそんはんえい・家系が途切れな）」のご利益を担う習慣もあります。

これは柏の木の葉が「新葉（子ども）が育つまで古い葉（親）が落ちない」事から由来され、柏の木が古くから神聖な木と伝えられている事と、子供の成長を祝う日である事の2つの意味を併せて、5月5日に柏餅を食べる習慣が生まれました。



CDA ニュース 5月号 2018年5月15日 発行

メーデー



5月1日、ゴールデンウィークの中日にある平日。この日が休みならば、丸々1週間が休日となっていた。そんな5月1日が世界的には「メーデー（労働者の日）」という祝日であることはご存じだろうか？過去、日本でも祝日にしようかという動きがあったそうだ。ではなぜそうならなかったのか？そもそも「メーデー（May Day）」とは、夏の訪れを祝う五月祭でした。それが、産業革命後に常態化していた労使争議において「せめてこの日は休戦しよう」という風になりました。

そして、1886年にアメリカで大規模なストライキが発生しました。当時は、12～14時間労働が当たり前で、「第1の8時間は労働のために、第2の8時間は休息のために、そして最後の8時間は自分たちの好きなことのために」というスローガンで「8時間労働」を訴えました。だが、「8時間労働」はなかなか実現せず、その後も5月1日にストライキが起こり、1890年には世界の労働組織に波及し、第1回の国際メーデーが実施されました。これが、今に続くメーデーの起源といわれています。

ですが、日本でメーデーと言えば「社会主義運動の一貫」というイメージがあります。これは、日本では社会主義者が中心となった政治結社が主体となり、労働組織に呼び掛け、人を集めて行ったためである。その後も、日米安全保障条約への反対を訴えたりなどといった社会主義的な政治活動の色合いが濃くなっていったため、日本ではメーデーは行われなくなり、今では時代の変化とともに世界的にもメーデーの意識は薄れています。

さて、長々とメーデーについて説明したが5月1日が祝日にならなかったのは、昭和から平成への移行、ゴールデンウィーク後半の休日の連続性が高められたこと、勤労感謝の日と趣旨が似ていることなどが理由である。

CDA ニュース 5月号

2018年5月15日 発行

CDAに通所したS.Hさんの話

通い始めた頃は体調やメンタル面で安定せず、休むことが多かったのが正直な話です。

しかし、今は休まず連続で通うことができる日が増えています。職員さんの応援のおかげで、自分の意識に変化が訪れていきました。また、同じように心身で悩みながらも頑張っている方の声を聞き、自分も頑張ろうと思うことができました。

また、プログラムに惹かれるものが多くあり、楽しみつつ通うことができました。私はフィジカルトレーニングの一風変わったものによく参加していました。昨年の冬は落ち葉アート、春はお花見を開催してくださいました。近くに大阪城公園があり、四季を感じられてとても良いです。部屋で塞ぎ込むよりも健康的な活動ができたことは気持ちを上げてくれました。

ICTスキルというパソコンを学ぶプログラムでは、職員さんが丁寧に教えてくださり、かなりスキルが上がった実感を得られました。また特別プログラムでデザインを学ぶこともありました。文字の視覚的効果、パッと見てわかる美しいデザインの話はとても興味深かったです。

企業見学も行っていただき、貴重な経験となりました。私はアパレルの会社を見学しました。一着一着がそれぞれの人の手によって完成、梱包、発送されていく様子は普段見られない裏側という感じで刺激がありました。自分も働く際に、様々なサービスの一端を担えたらいいなという意識が芽生えました。

このように、キャリアデザインアプローチに通うことで様々な意識の変化や刺激があったように思います。就労するにあたって、メンタル面で変わっていったことは大きいです。これからも、多くのプログラムに参加していきたいと思っています。

(S.H)